

# わが国証券市場の問題点



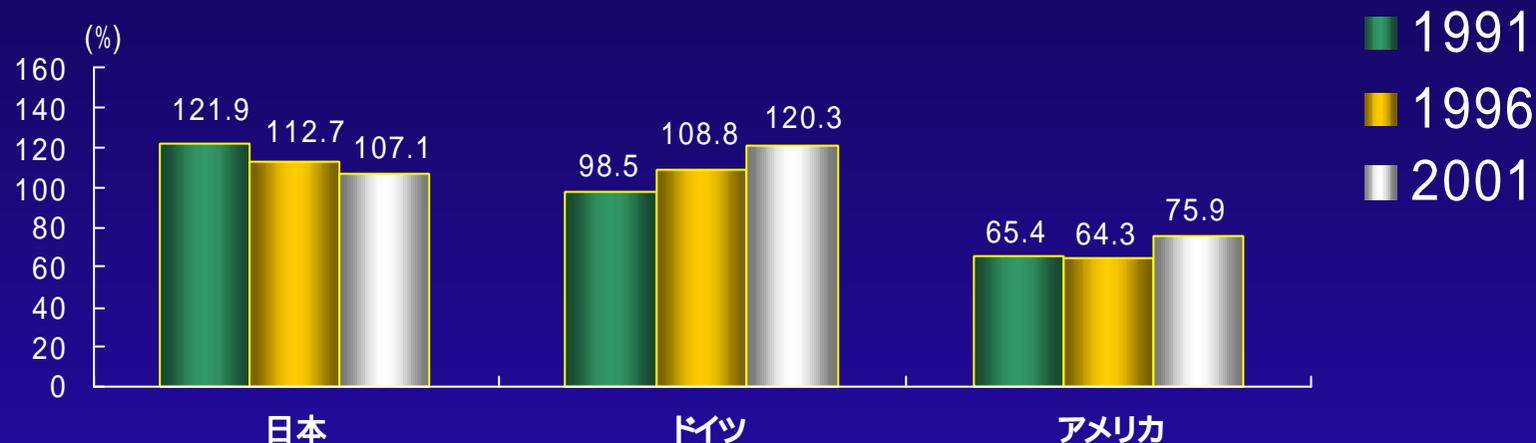
2002年 9月

野村総合研究所

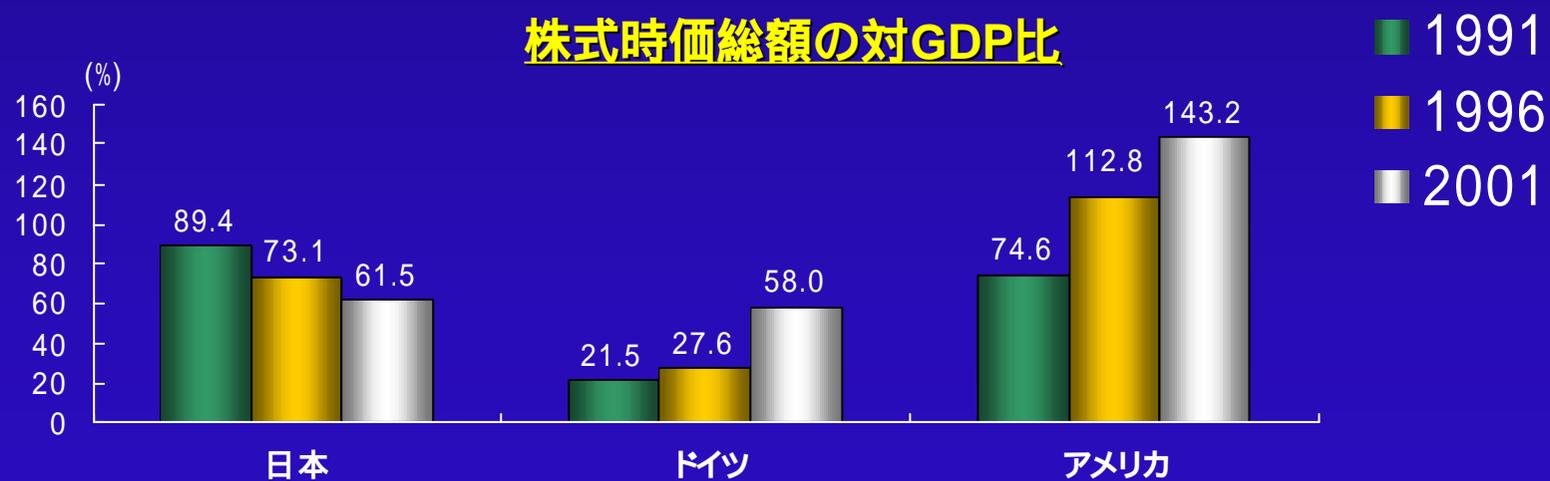
資本市場研究室

# 貸出市場と株式市場の国際比較

## 銀行貸出の対GDP比

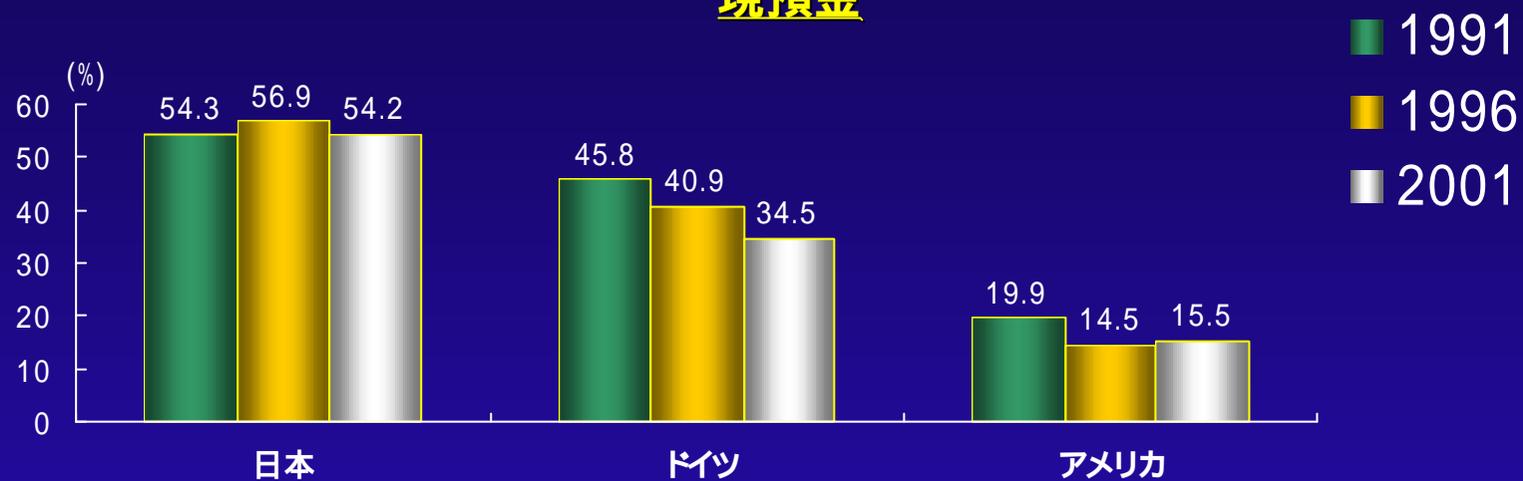


## 株式時価総額の対GDP比

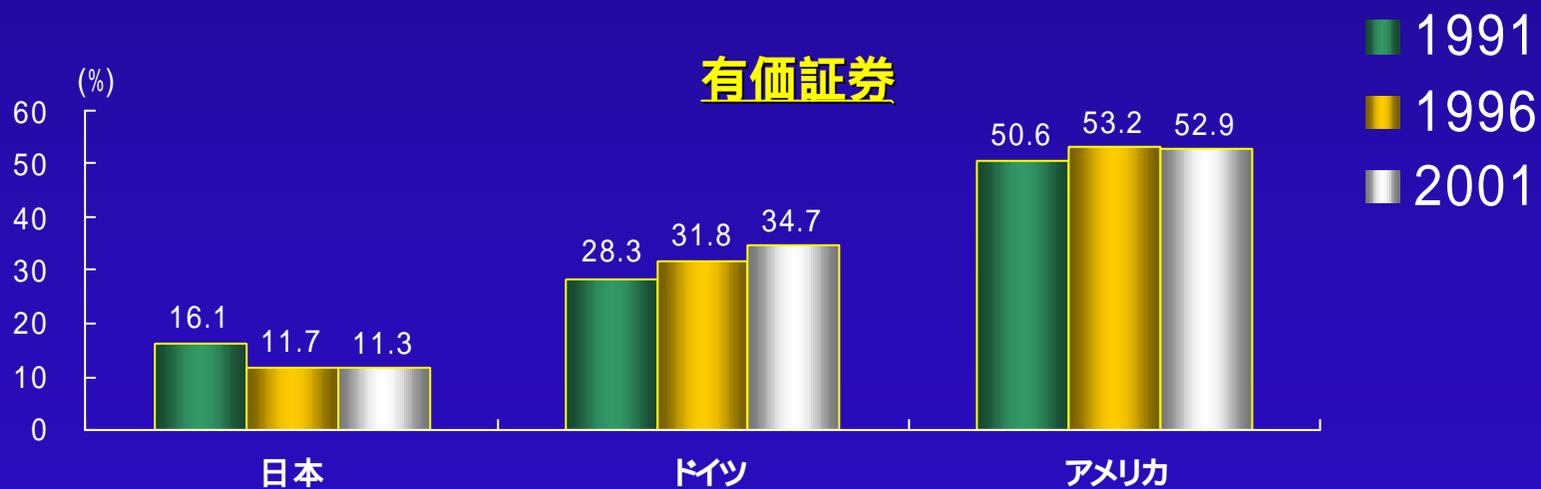


# 個人金融資産の国際比較

## 現預金

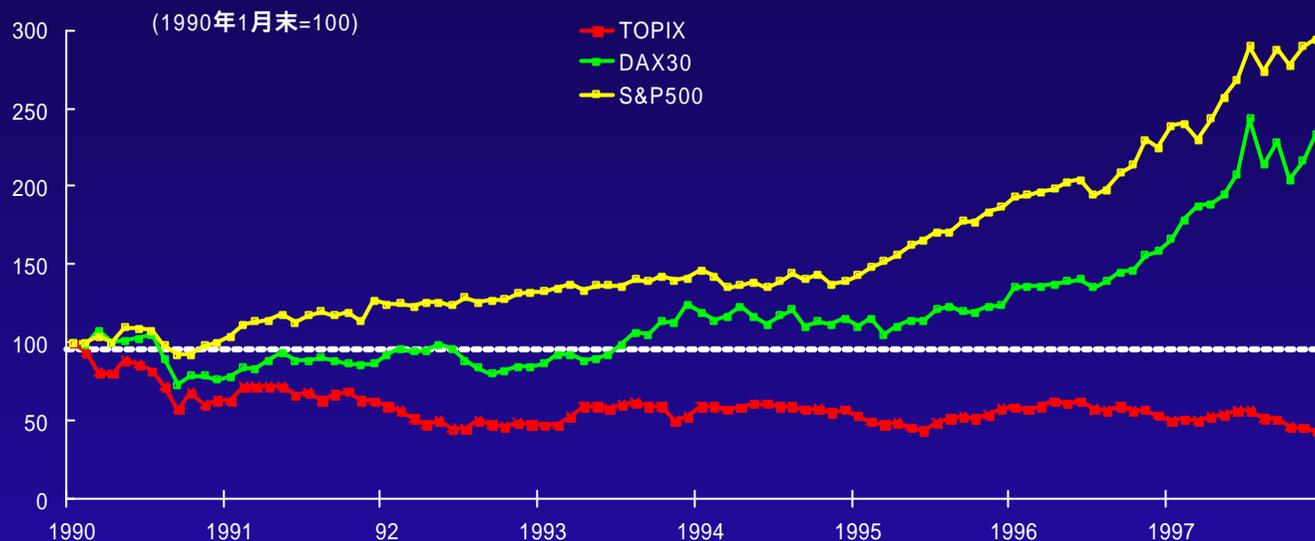


## 有価証券

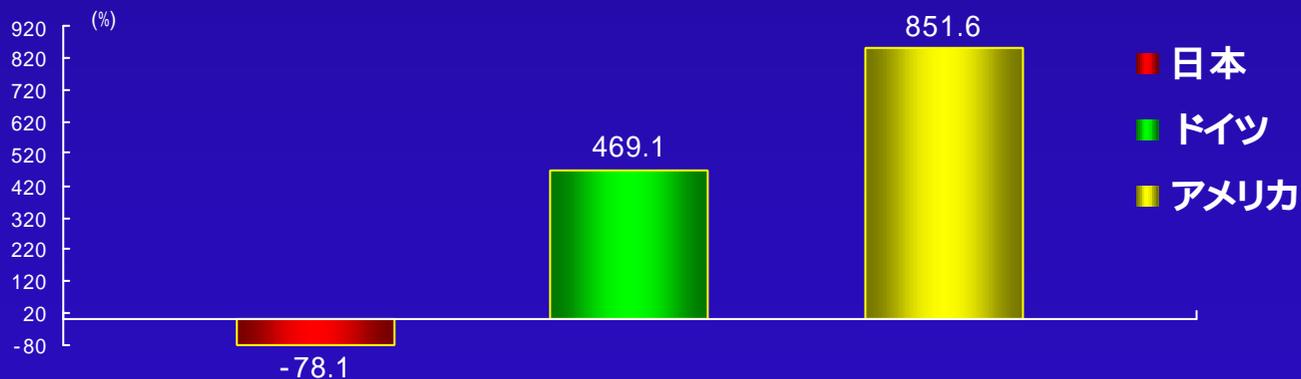


# 株価指数推移と株式投信の増加率(1) 1990 ~ 1997

株価指数推移  
1990 - 97



株式投信残高増加率  
1997年末 / 1989年末

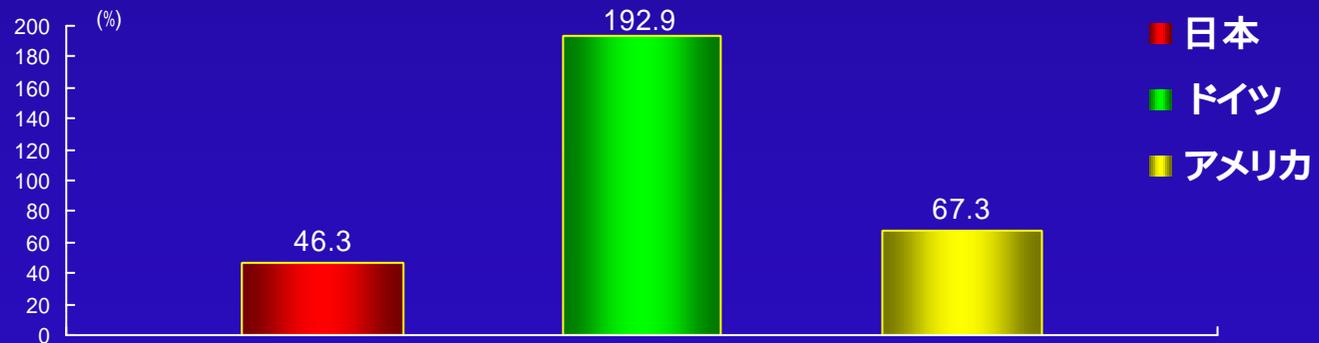


# 株価推移と株式投信の増加率(2) 1998 ~ 2000

株価指数推移  
1998 - 2000



株式投信残高増加率  
2000年末 / 1997年末

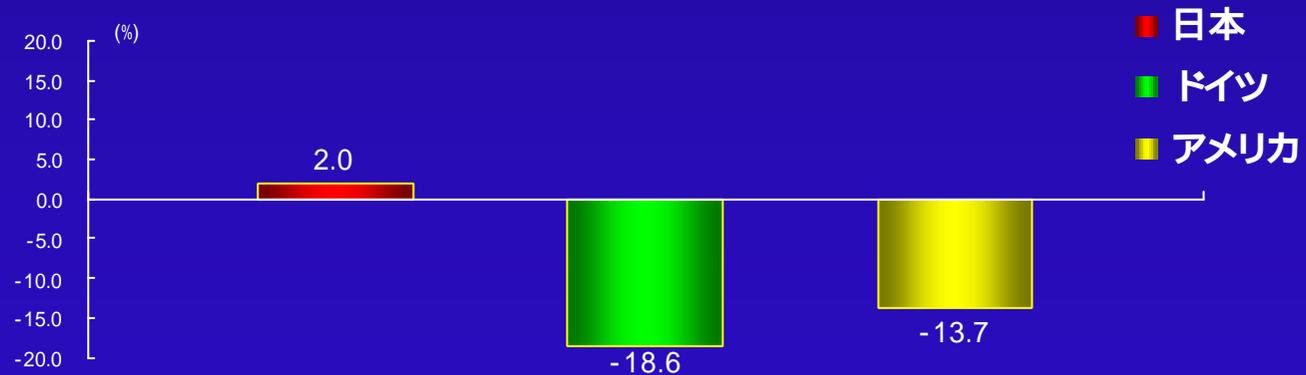


# 株価推移と株式投信の増加率(3) 2001 ~ 2002

株価指数推移  
2001 - 2002

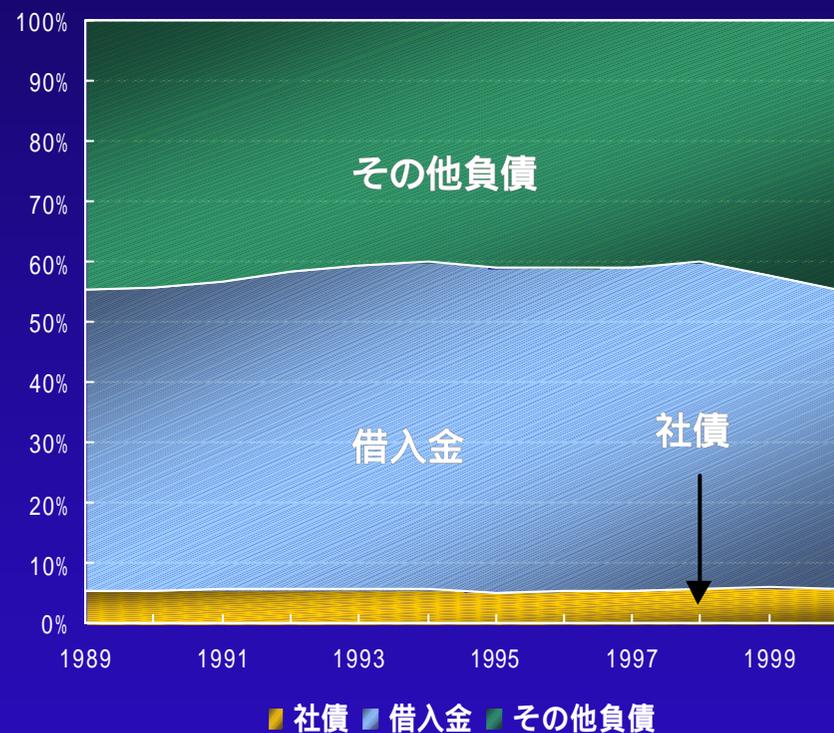


株式投信残高増加率  
2001年末 / 2000年末



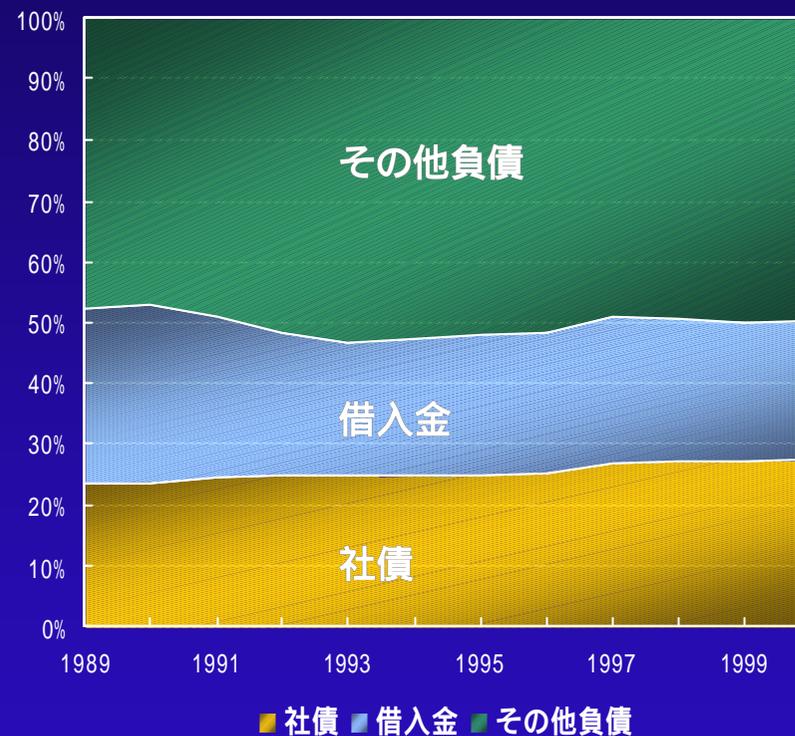
# 日米企業の負債構造

## 日本



出所：財務省「法人企業統計年報」

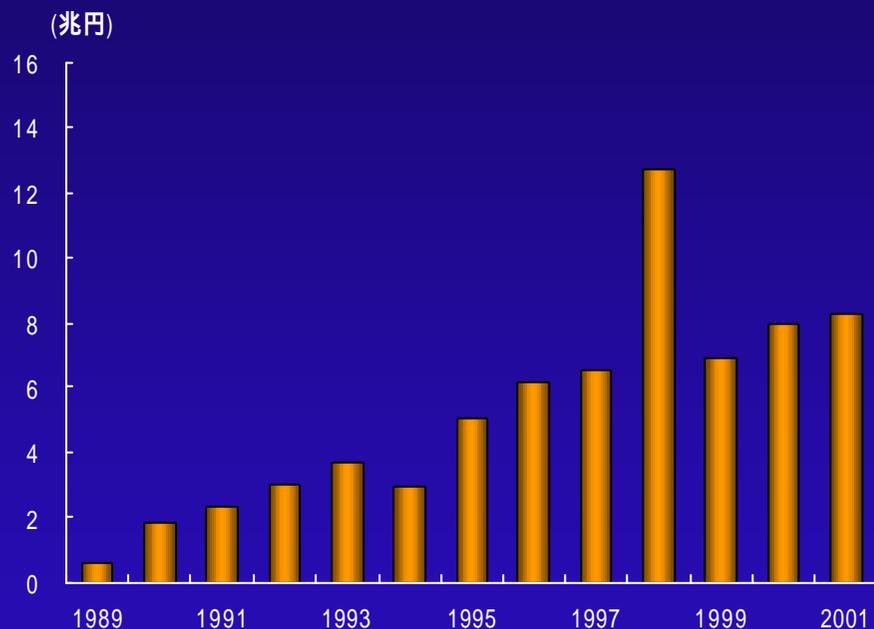
## 米国



出所：FRB「Flow of Funds」

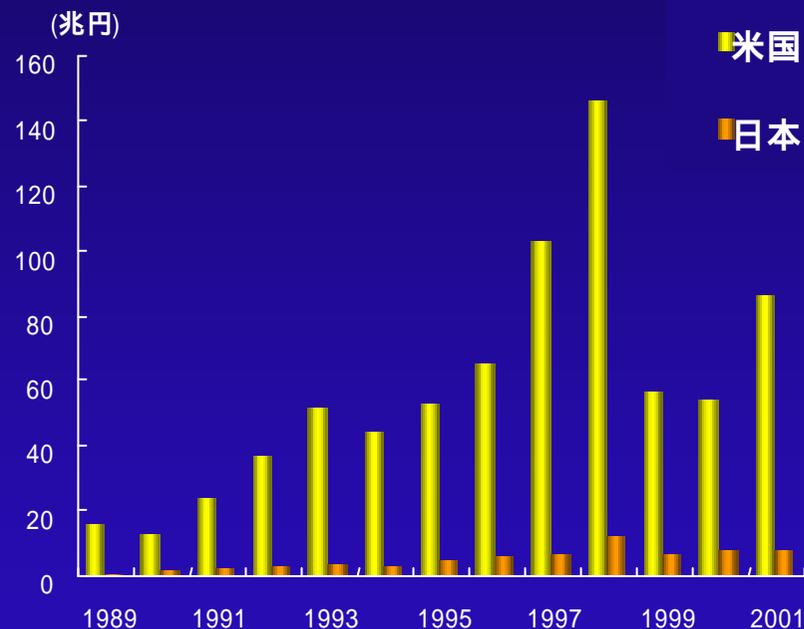
# 社債の発行額推移

## 日本企業の国内社債発行額



出所 :日本証券業協会 「証券業報」

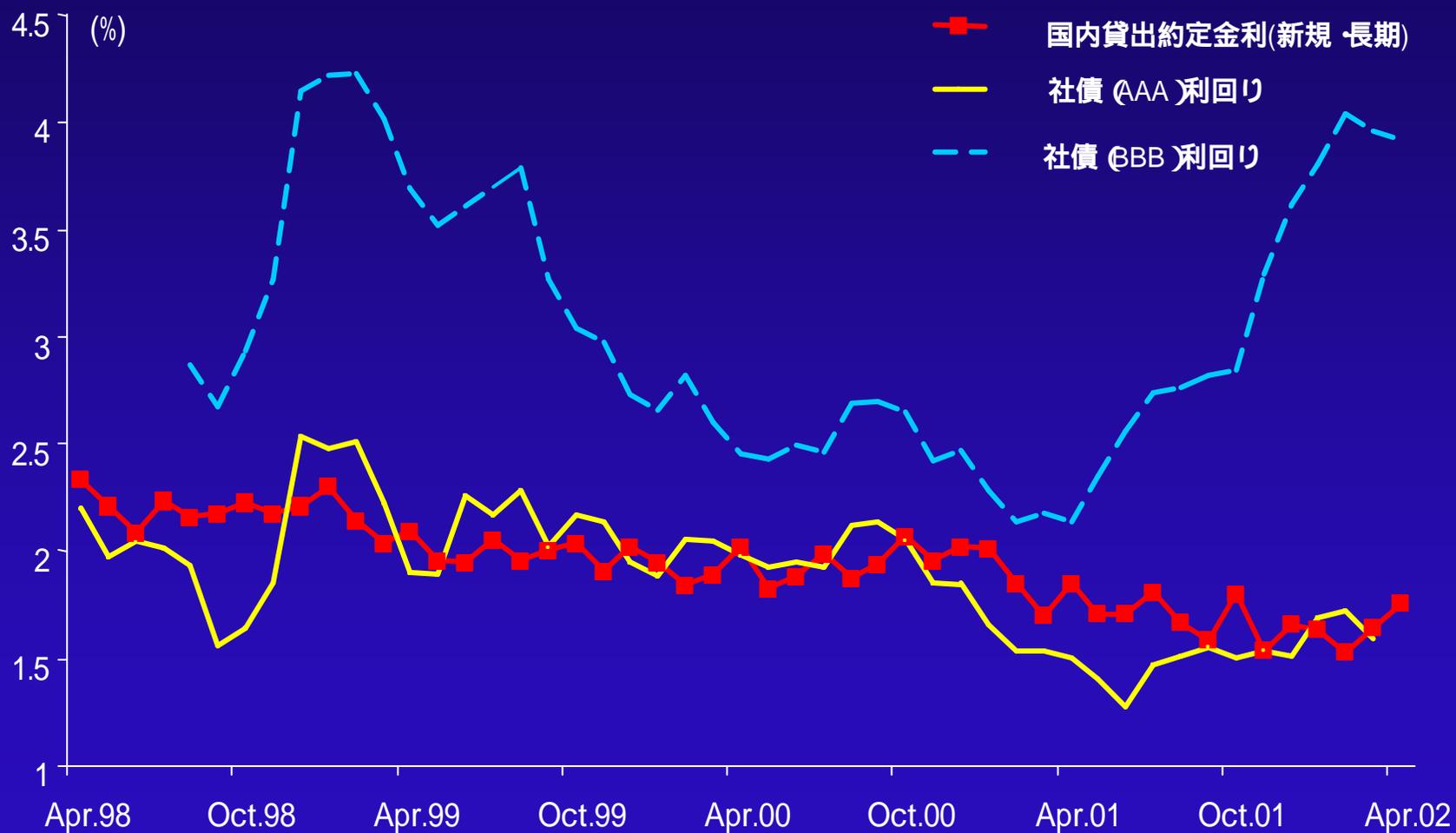
## 日米の社債発行額比較



出所 :日本証券業協会 「証券業報」  
日本証券研究所 「図説アメリカの証券市場」  
(注) 1ドル=120円で換算

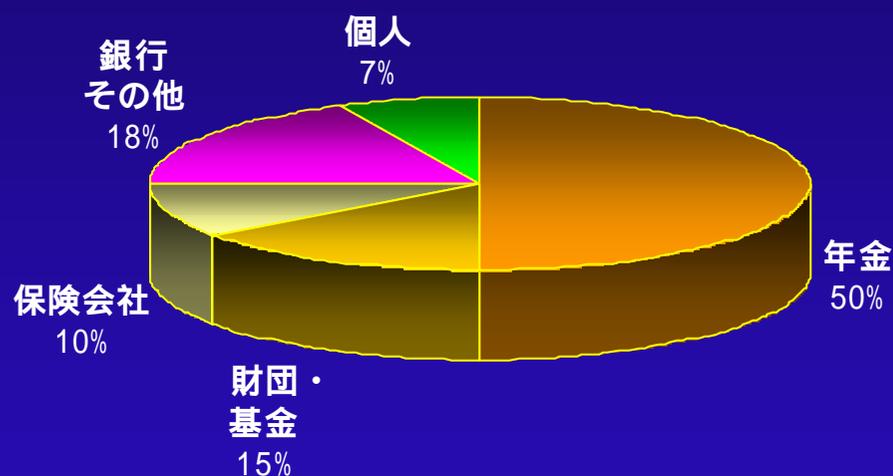
# リスクを反映しない、銀行の貸出行動

## 銀行の貸出金利と社債利回り(10年金利)の推移

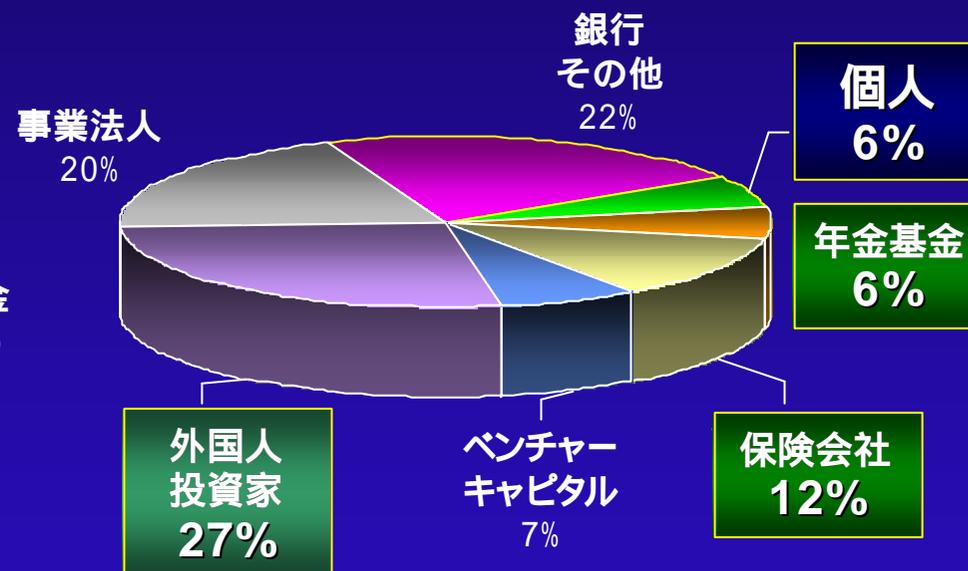


# プライベート・エクイティ・ファンド投資家の日米比較

**米国**  
(プライベート・エクイティ・ファンド)\*



**日本**  
(有限投資事業組合)\*\*



出所：\*マイケル・J・コーバー著『プライベート・エクイティ価値創造の投資手法』（東洋経済新報社）

\*\* VEC(2000年度)

# 個人投資家が中心のベンチャー株式市場

## 市場売買金額に占める個人投資家の比率

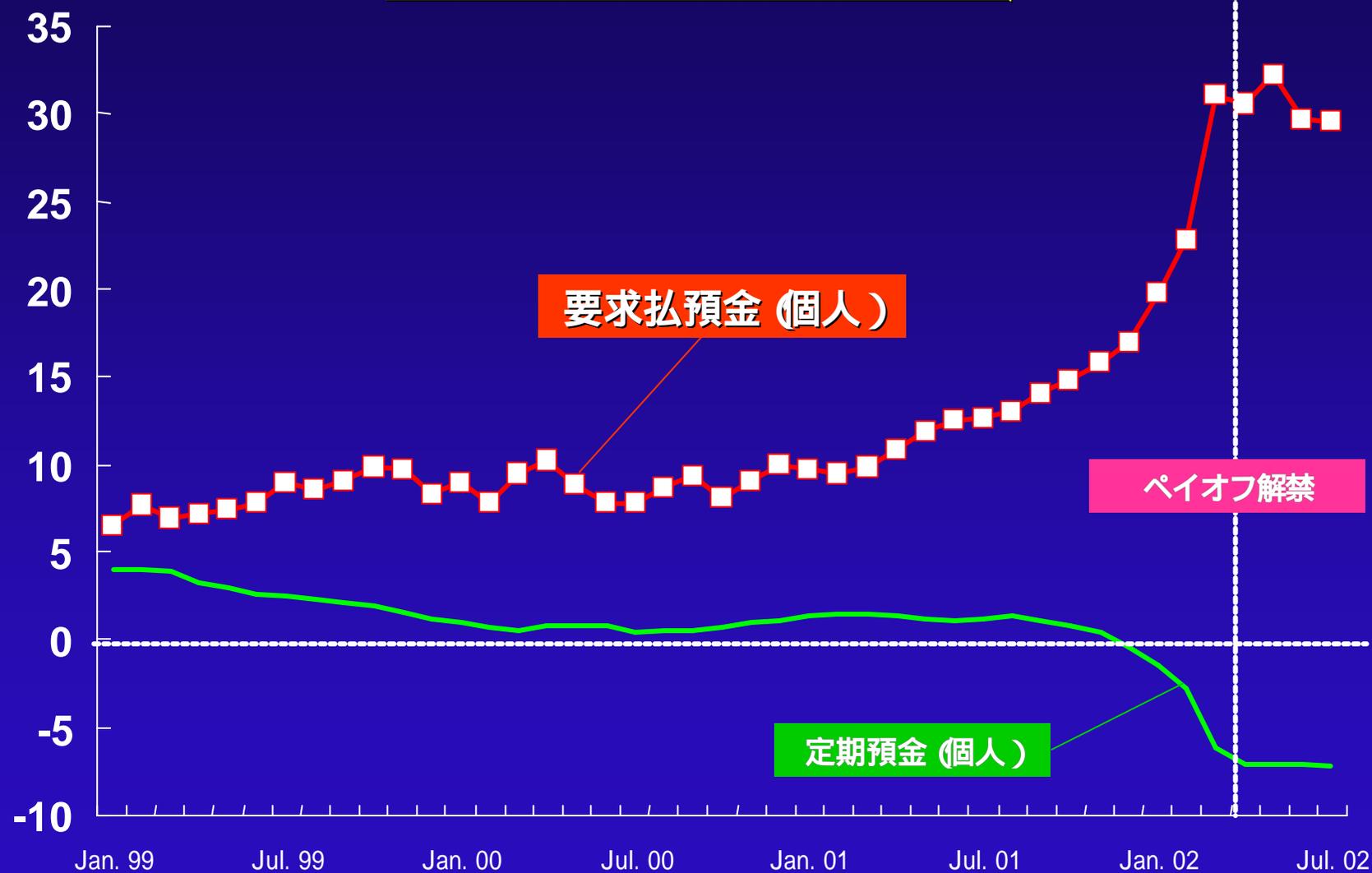


出所 :東京証券取引所、日本証券業協会データより野村総合研究所作成

# 資金シフトする個人投資家

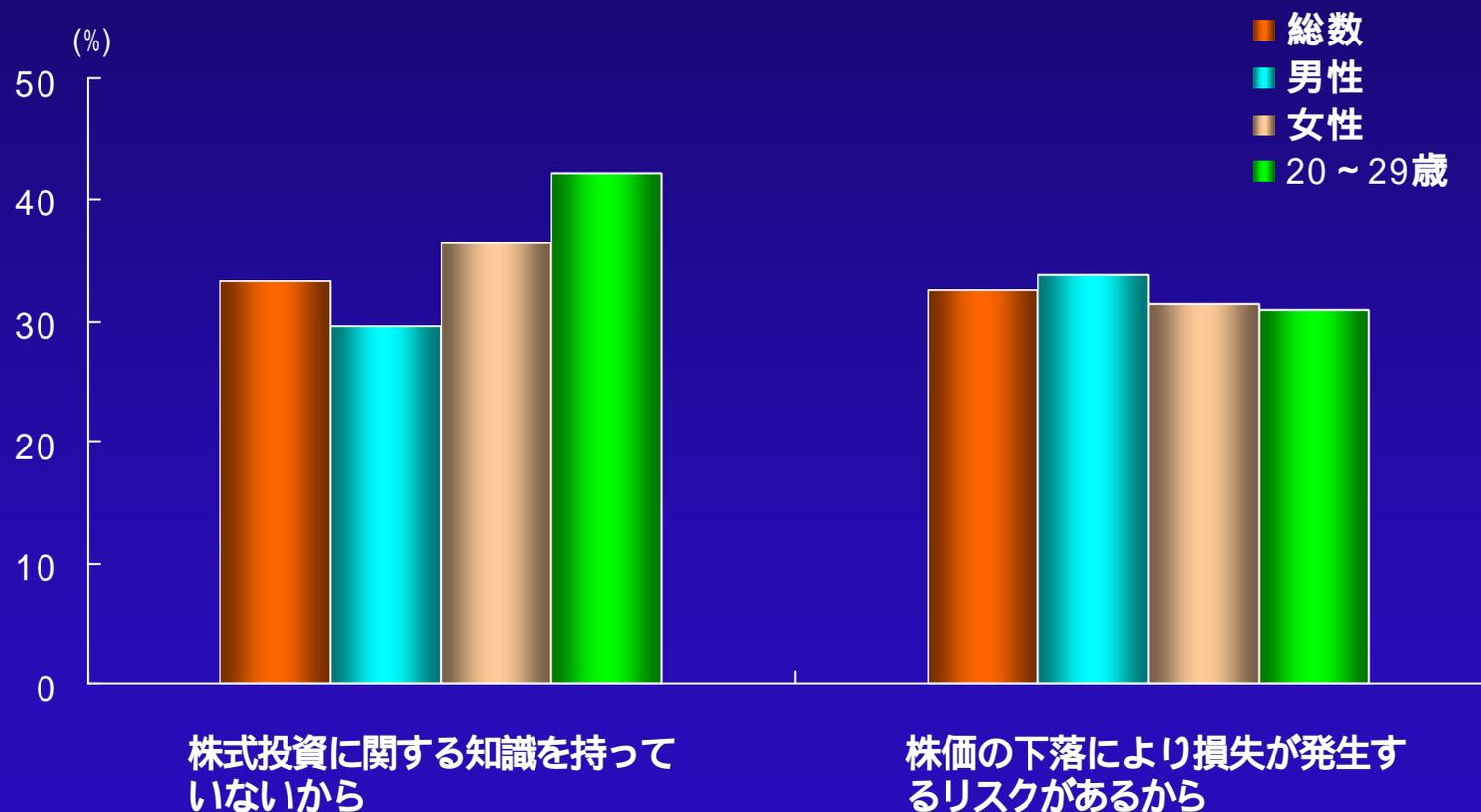
前年同月比%

## 種類別にみた預金残高の伸び率推移



# 株式投資を敬遠する理由

「株式投資を行おうと思わない」理由として最も多かったのが、「株式投資に関する知識を持っていないから」で全体の33.3%をしめた。特に、女性では36.5%、20～29歳の年齢層では42.3%がこの理由をあげた。



## 金融構造が変化しない理由

1. 日本市場のパフォーマンス低迷
2. 債券市場の未発達
3. リスクを避ける機関投資家
4. 個人の投資に対する知識不足

## 証券市場行政の課題

- 市場振興は、株価の上昇とはほとんど関係がない。
- 「公正で効率的な市場の確立」こそが市場行政の目的。
- 単年度で「成果」をあげることにこだわらない手法を。
- 高度の専門性を備えて、「投資者保護」の観点から市場関係者と対話を。